

## **News Release**

2012年4月5日

「ソーラー・デカスロン・ヨーロッパ2012」 千葉大学チーム出展の『おもてなしハウス』に、 「S. S.」を出品し協賛致します。

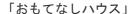
クリナップ(本社:東京都荒川区 代表取締役社長:井上 強一)は、千葉大学チームが初参加する「ソーラー・デカスロン・ヨーロッパ2012」のソーラーハウス『おもてなしハウス』のコンセプトに賛同し、ハウス内にシステムキッチン「S. S.」を出品し協賛致します。

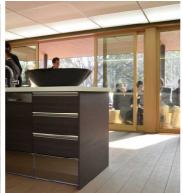
「ソーラー・デカスロン・ヨーロッパ2012」は、自然エネルギー利用の啓発を目的に、 2002年からアメリカで始まり、太陽光のみで快適な次世代住宅の建築設計を競う世界規模 の学生建築コンペティションです。今年は日本から初めて千葉大学チームが参加し、9月14 日からスペインのマドリードにおいて、15カ国20チームの出展作品が集結し開催されます。

『おもてなしハウス』は、日本が古くから培ってきた"おもてなしの心"を今後の都市と暮らしのコンセプトとして解釈しなおし、次世代住宅として提案するものです。ソーラーハウスとしての省エネ性をはじめデザイン性、快適性、持続可能性など10項目が審査項目となります。

今回の千葉大学チームの出展において、そのコンセプトが世界に高く評価され好成績が獲得できるよう、日本を代表するキッチンとして、ステンレスシステムキッチン「S. S.」を出品協賛します。クリナップはキッチンにおける"おもてなしの心"を、日本を代表して世界に発信します。









「おもてなしハウス」に採用されたシステムキッチン「S.S.」